



みんなで創ろう

—岩室村第四次

すばらしい村!

総合開発計画始まる—



村民アンケートの実施

平成10年度に終了する第三次総合開発計画に伴い、平成11年度より平成20年度までの10年間の村の指針となる第四次総合開発計画が、今年と来年の2年間をかけ策定することになり、その基礎となる村民の意見、提言、アイデアを広く反映させるために8月に村民千人に行ったアンケートの中から主な結果についてみなさんにお知らせします。

岩室村は美しい村である

(複数回答)

「あなたはわが岩室村をどのような村だと思いますか」という質問に対して、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」とあわせて「肯定的意見」が5割を超える項目は、「美しい村である」(75%)、「郷土愛のある村である」(54%)、「明るい村である」(54%)、「豊かな村である」(53%)、「有名な村である」(51%)の5項目で、特に「美しい村」と言う評価は7割強と群を抜いています。

一方「活気のある村である」や「便利な村である」は、「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」をあわせた「否定的意見」は、7割前後とめだちます。

今の場所に住み続けたい

あなたは、これからも岩室村に住み続けたいと思いますかの質問に対して、「今の場所に住み続けたい」(75%)が最も多く、「村内の別の場所に移りたい」を含めると村内の定住意向は8割に達しています。また、村外への転出意向では、「周辺市町村」が、最も多く、県外への転出意向はほとんどみられません。

環境保全や保健・医療

福祉の充実を (複数回答)

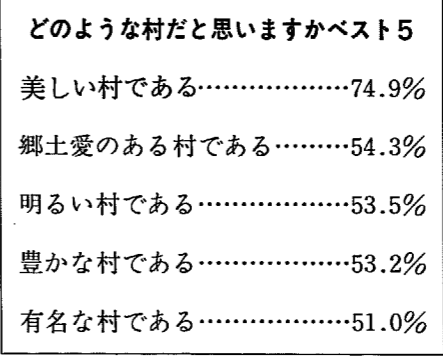
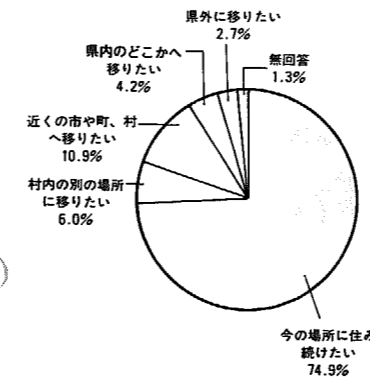
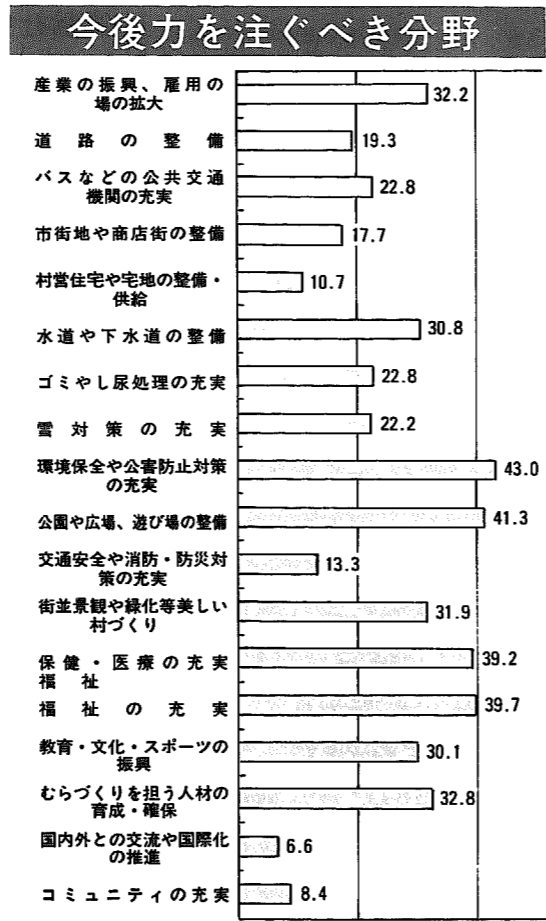
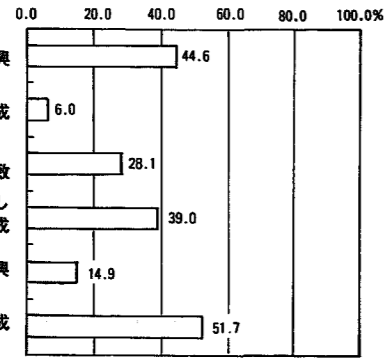
今後取り組むべき分野

今後岩室村が取り組むべきむらづくりの分野のうち、あなたは特にどの分野に力を注ぐべきかとの質問に対して、村民は、「環境保全や公害防止対策の充実」(43%)、「公園や広場、遊び場の整備」(41%)、「福祉の充実」(40%)、「保健・医療の充実」(39%)の順となっています。環境保全や保健医療福祉など自然環境保全・健康・安心にかかわる分野がめだちます。公園・遊び場や地域経済に対する期待もみられます。

現在の資源を活かした

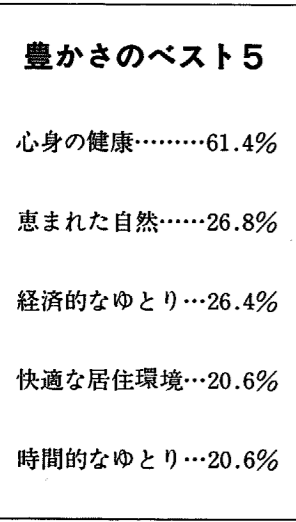
地域産業の振興を (複数回答)

岩室村の地域産業の振興について、あなたは特にどの分野に力を注ぐべきかとの質問に対して、「観光産業の振興」(52%)が最も多く、過半数を占め、次いで「農業の振興」(45%)、「地域素材を生かした加工産業の育成」(39%)の順となっています。企業誘致への期待も3割程度みられますが、全体的に現在の資源(中心的な産業)を活かした展開が重視されています。年代別では、「地域素材を活かした加工産業の育成」は年齢層に問わず重視されていますが、「観光産業の振興」や「商業の振興」は20〜30歳代で「農業の振興」は40歳以上でめだちています。また30〜50歳代といった働き盛りの年齢層は、「工業など新たな企業の誘致」も重視しています。



調査方法

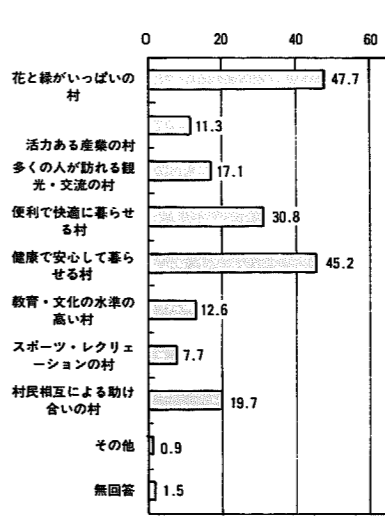
住民基本台帳より無作為で20・30・40・50・60歳以上の各年代を合計1,000人抽出し、答えていただきました。アンケート用紙の配布は、各区長さんをお願いし、回収は返信用の封筒で回収しました。回収数は548。回収率は54.8%でした。



あなたにとって豊かさとは

(複数回答)

あなたにとって豊かさとはの質問に対して「心身の健康」が群を抜いて高く、6割強を占めています。次いで、「恵まれた人間関係」(27%)、「経済的なゆとり」(26%)、「快適な居住環境」(21%)、「時間的なゆとり」(21%)とほぼ同程度並んでいます。健康は、経済面以上に豊かさを感じる上での重要事項と認識されています。



将来の岩室村のイメージ

(複数回答)

あなたは、将来の岩室村がどのようなイメージの村になることを望みますか。

岩室村の将来イメージでは、「美しい自然に包まれた、花と緑がいっぱいの村」(48%)、「健康で安心して暮らせる村」(45%)、「便利で快適に暮らせる村」(31%)の3つが上位を占め、「美しさ」、「安らぎ」、「快適」といった、日々の暮らしやすさを望む傾向が伺えます。一方「活力ある産業の村」(11%)、「スポーツ・レクリエーションの村」(8%)は低くなっています。

